



タチウオ

主な漁業と漁期

釣り、定置網：周年

生態

●分布・回遊

タチウオは全世界の温帯海域に分布し、日本近海では北海道南部以南に分布しています。瀬戸内海や東シナ海では季節により回遊することが知られています。

●成長

海域によって差があるものの、1歳で肛門前長20～24cm、2歳で25～30cm、3歳で31～36cm程度に成長します。雌は雄より、また春季発生群は秋季発生群より成長が早いとされています。寿命は6、7歳とされています。

●成熟・産卵

1歳で40%前後、2歳魚で80%以上が成熟します。駿河湾の産卵期は7～11月、盛期は9月です。他海域では紀伊水道、熊野灘は4～11月、東海・黄海は5～7月となっています。産卵場所は沿岸の砂泥域の50～70mの中・底層とされています。

●食性

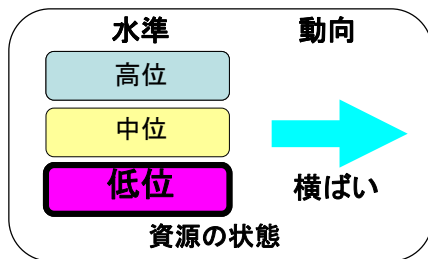
稚魚は動物プランクトンを、未成魚はオキアミ類やアミ類などを捕食しています。成魚は魚食性の傾向が強くなり、特にイワシ類、サバ類、アジ類、サイウオ類などを主に捕食します。駿河湾内では、これ以外にサクラエビも捕食することが知られています。



タチウオの泳ぐ姿

漁業・資源動向

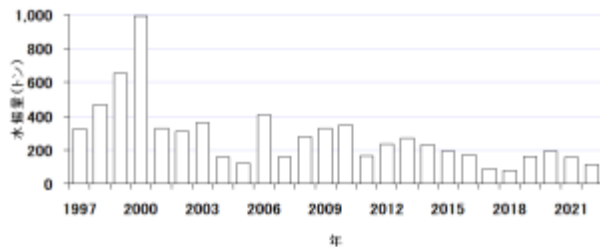
【資源】



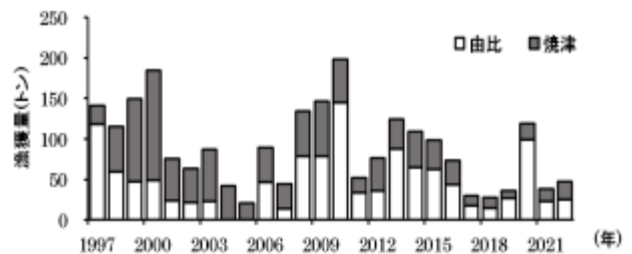
漁獲努力量が比較的安定している駿河湾内の大型定置網漁業の漁獲量推移から、資源水準は低位、動向は横ばいと判断されます。

【漁獲量】

- 1 県内では、主に定置網と釣りで漁獲されています。県内主要港(22港)のタチウオ漁獲量は、2000年以前は増減の幅が大きく、1000トン近くまで増加することもありましたが、2001年以降は500トン未満で増減を繰り返しています。2014年以降は減少傾向にあり2018年には75トンと、1990年以降では最も少ない値となりました。2019年以降は150トン前後で横ばいに推移しています。
- 2 駿河湾内の大型定置網漁業での漁獲量は1997年以降、増減を繰り返しており、2017年以降は2020年を除き、50トン未満で横ばいで推移しています。



県内主要港(22港)のタチウオ漁獲量の推移



駿河湾内の大型定置網漁業におけるタチウオ漁獲量の推移

担当者の一言：タチウオの名前は、太刀(たち)に似ていることや、立って泳ぐ姿に由来していると言われています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817